



第138号
平成23年2月25日
田迎校区公民館
館長 東 旭
編集委員
上田 昭蔵 吉住 久江
小林省三郎 西 朝徳
☎378-5878
編集責任 吉野元生

ふるさと創世

(住み良い町に暮らしの工夫)

実践項目

校区公民館

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

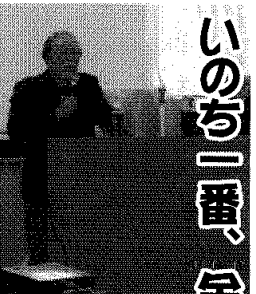
恒例の校区新年会開催される

平成二十三年一月七日(金)恒例の校区新年会が田迎神社の隣、田迎公民館において開催された。

参加者は町内自治会の役員及び各種団体関係の役員計八十五名である。

校区新年会は午後六時から公民館がいつはいいになる程の参加者の中で、校区公民館主事の吉野氏(三町内)の司会進行により始められた。

はじめに、校区公民館館長東館長が「日頃から公民館行事に協力いただき有難うございました。今年もよろしく。」と開会の挨拶。その後、校区自治協議会長の西田会長の主催者挨拶があった。次に来賓を代表して高島和男市議会議員が「田迎校区はますます発展している。今後も田迎のために尽くしたい。」との挨拶があった。その他、来賓として小中学校の関係者、幸田市民センター所



いのち二番、金は二の次 出前講演会開催

二月十三日(日)午前十時三十分から、田迎神社の隣の田迎公民館において、ふれあい出前講演会が開催された。

講師には、熊本で医者として多くの患者さんと接してこられた経験と自身の体験から病気になるための養生生活を提唱される百姓医師の赤ひげ先生の公立菊池養生園名誉園長の竹熊宣孝先生である。

当日、公民館に八十名近くの地域住民が参加して竹熊先生が講演された。

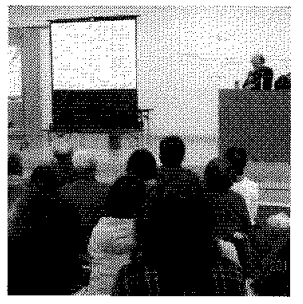
昨夜の雨はあがり、曇りとなった二月十一日(金)の建国記念の日に「田迎町民家族ふれあい歩け歩け大会」が行われた。当日は雨の心配のない天気となったので田迎小運動場には校区町民が九時三十分には集合していた。

はじめに校区体協会長の石原会長の挨拶があった。参加者は体協から手袋のプレゼントを頂き田迎小を出発した。



恵を盗む事を考えよう。また、きれいな作物を作ろうとすれば得るものもあるけれども失うものも多い。環境が変わったために病気が多くなつた。そのために自然な生き方も大切でなろうか。医は食に、食は農に、農は自然に学べである。

今後は子ども達に「いのち」を教える努力をすべきである。日本は山や海がある。山は酸素を作り、海は魚を養う。日本はいのちを養う資源大国である等と話された。



入る。自分のカードの番号が当れば喚声がある。速い人は三分程でビンゴの人あり、最後までビンゴなしの人もあるなど、三分程の楽しい時間をすごした。ゲーム終了後、全員に賞品が渡された。参加賞の中には、三町内の町井さんが作られた竹とんぼがあつて、一人二本以上は頂いた。

その後、グループに別れてビデオをみたり、園内を見物したりして時間をすごした。中食のあと、一時に集合して帰る事になった。参加者にとつては、本当に気持ちよい疲れを残した一日であつた。